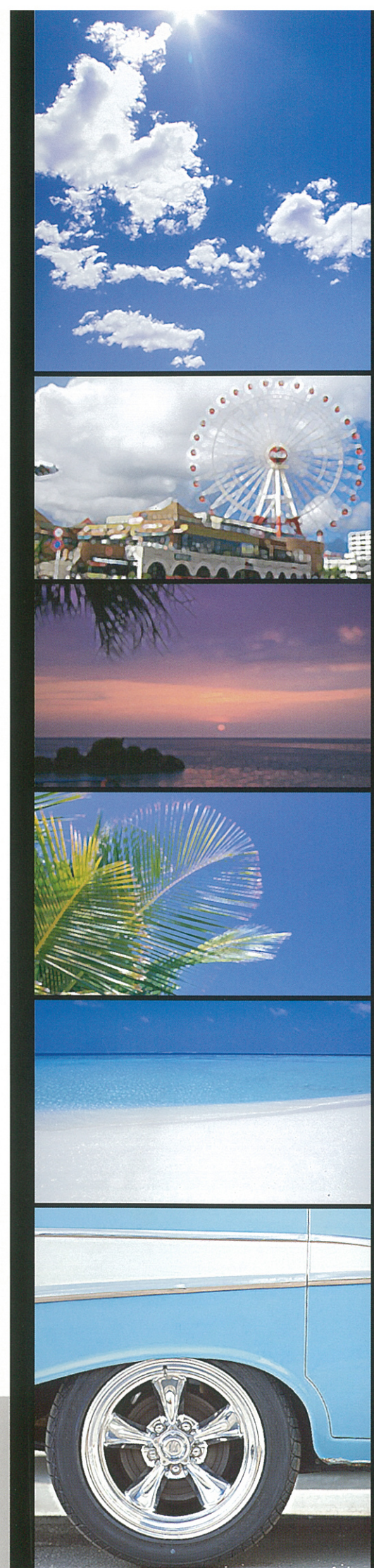


都市計画変更手続きの流れ



道路事業の流れ



国道58号 北谷拡幅



問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所 調査第二課

〒900-0001 那覇市港町2-8-14 TEL: 098-861-2336

はじめに

国道58号は、本島の西海岸に沿って南北に走る大動脈で、中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域を結ぶ主要幹線道路です。北谷地区は、国道沿いにアメリカンビレッジなど観光・商業施設が立地している他、米軍基地やIT施設などの就業施設も集積し、交通が国道58号に集中しているため、慢性的な交通渋滞が発生し、生活にも支障をきたしている状況です。

本事業は、この様な状況を勘案し、交通渋滞の緩和や沿道環境の改善、地域プロジェクトの支援等を目的としています。



図-1 計画概要

道路交通の状況(1) ~交通渋滞など様々な問題に悩まされています~

渋滞 慢性的な渋滞は地域経済の発展にも影響を与えています。

- 現況交通量は平日で約7.0~7.4万台/日
- 北谷地区は、沖縄県内(国道)でワースト5位(渋滞損失時間)
- 国道渋滞時は、並走する町道へも通過交通が流入し、生活道路としての環境も悪化

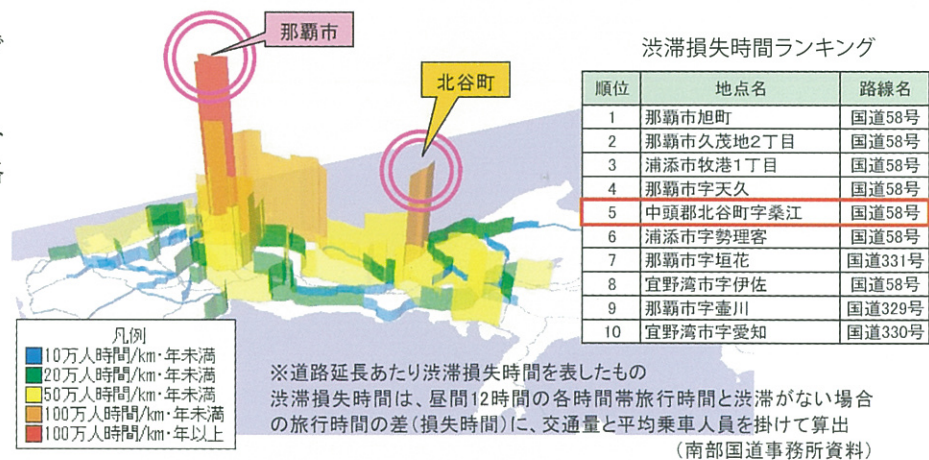


図-2 国道58号周辺の渋滞損失時間(平成20年度)



写真-1 国道58号の渋滞状況



写真-2 並走する町道の渋滞状況

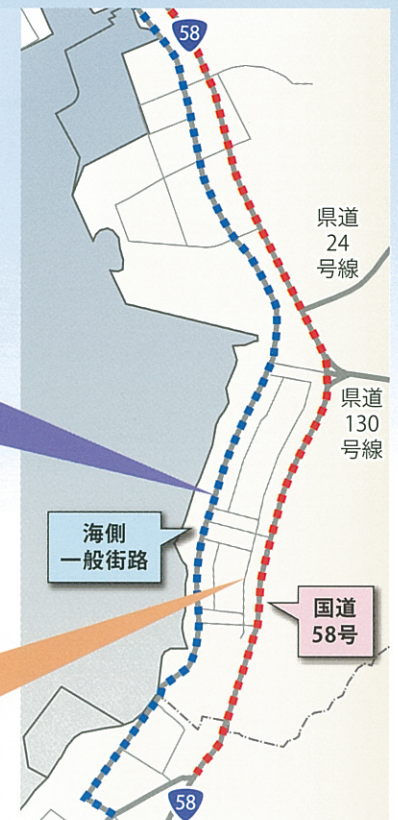
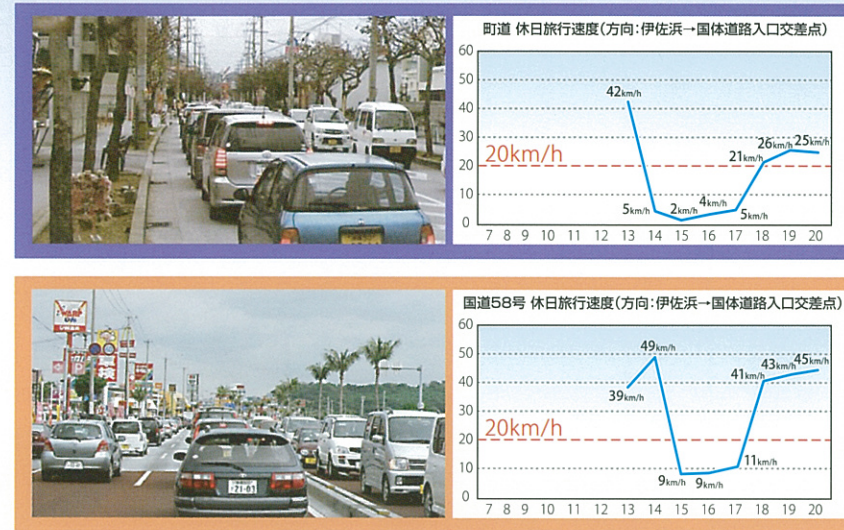
※渋滞損失時間:
基準となる旅行時間(基準旅行時間)から、実際にかかった旅行時間の「遅れ」時間のこと。

※基準旅行時間:
遅れ時間を算定するための基準となる旅行時間であり、ある区間を渋滞の無い状態で自動車が走行する場合の所要時間。

道路交通の状況(2) ~休日・交通~

渋滞 休日にはさらに激しく渋滞しています。

- 休日時の旅行速度は 8.8km/hに低下
- 一般街路にも通過交通が流入し著しく渋滞(旅行速度 5km/h以下)



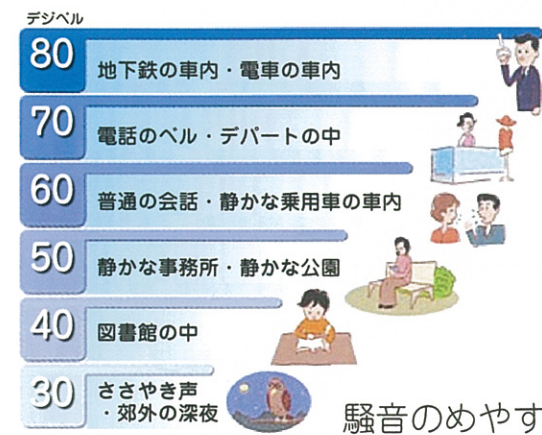
旅行速度: 旅行速度とは、平日の朝夕のラッシュ時及び休日のもっとも混雑する時間帯に調査した走行可能速度のこと。

環境 ~慢性的な渋滞は、環境悪化を招いています~

- 北谷町桑江地区では、平成17年から3ヵ年連続して環境基準未達成

	北谷町桑江 騒音レベル (Leq)	
	昼 (dB)	夜 (dB)
平成19年	71	66
平成18年	72	66
平成17年	71	68
平成16年	-	-
平成15年	72	66

環境基準: 昼70dB / 夜65dB 環境基準未達成



環境基準: 環境基本法「騒音に係る環境基準」
騒音に係る環境基準(幹線交通を担う道路に近接する空間)・昼間70dB以下・夜間65dB以下

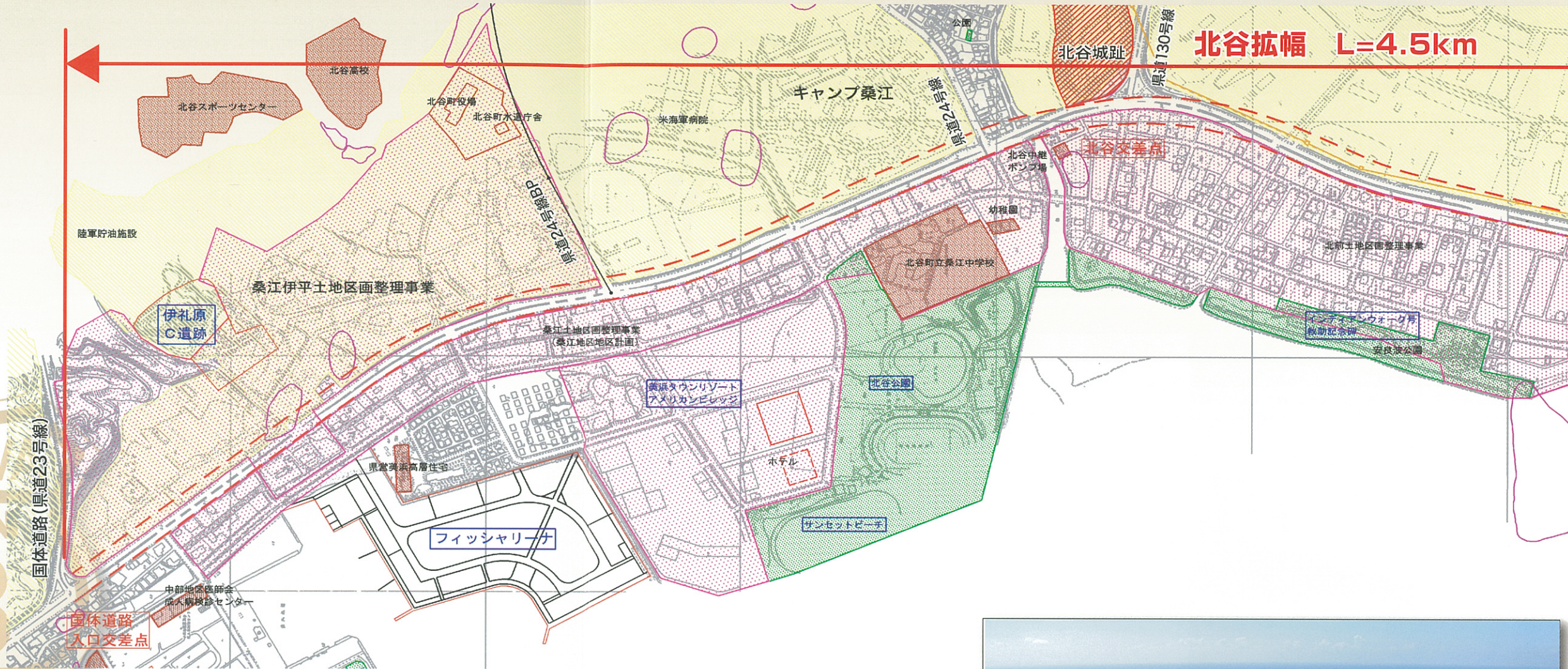
事業概要

◎都市計画道路名：
**中部広域都市計画道路
 3・1・1号 国道58号**
**那覇広域都市計画道路
 3・2・1号 国道58号**

◎延長及び区間：
延長：約4.5km

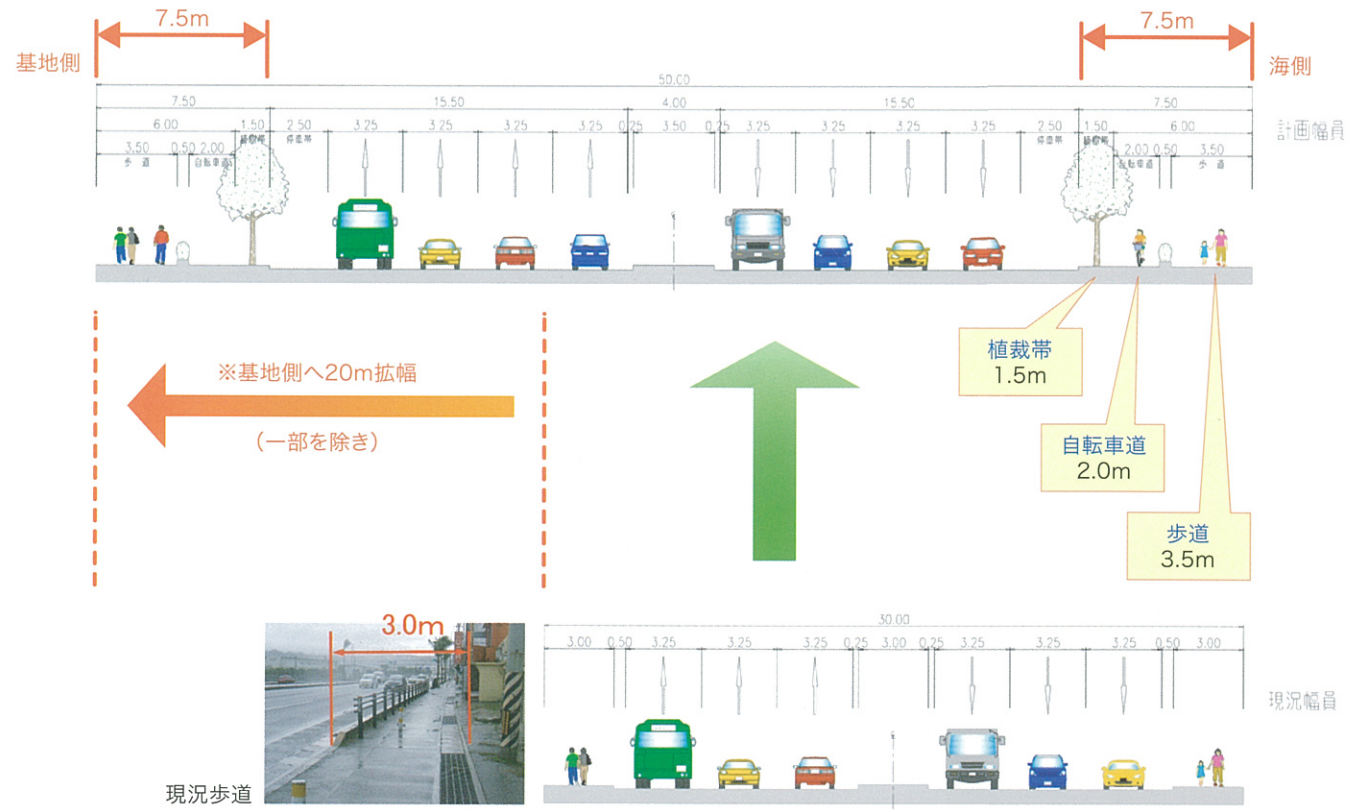
◎車線数：
8車線

◎道路幅員：
50m (標準部)



標準断面

ゆとり空間の創出

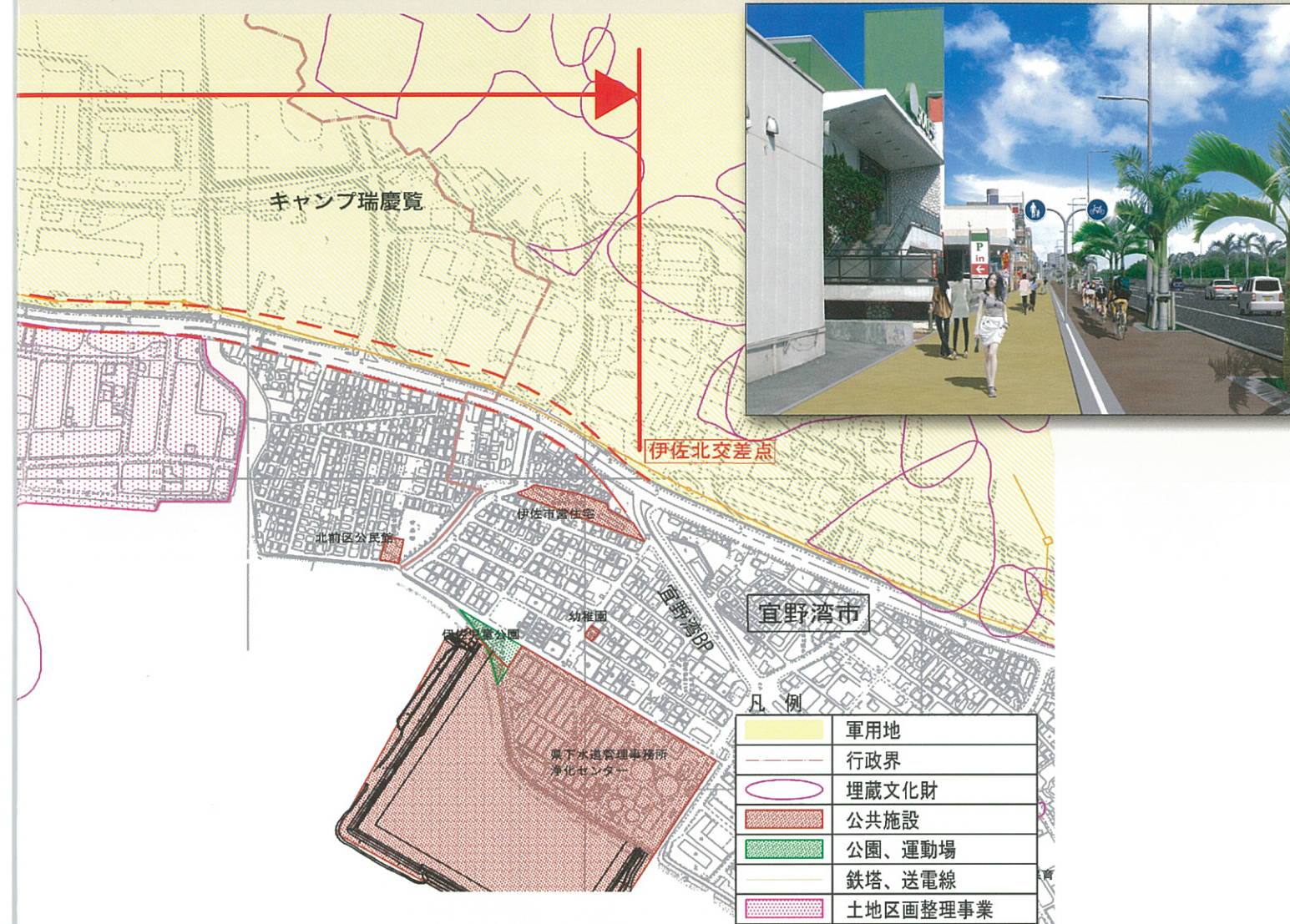


全体イメージ図



北谷地区(キャンプ桑江)北谷交差点より北側を望む

ゆとり空間の創出(イメージ)



北谷拡幅の整備効果

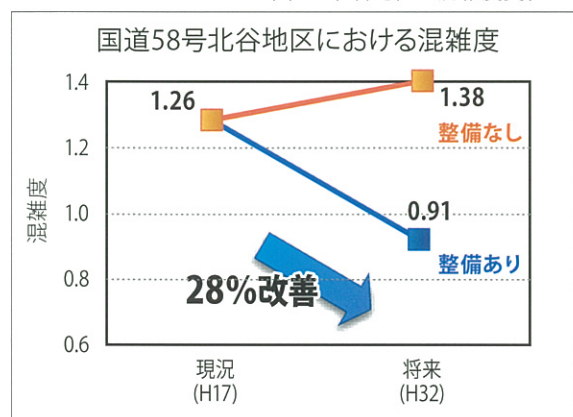
～円滑な交通が確保されると様々な効果が期待されます～

交通渋滞を緩和します

国道58号の混雑度は現状より**28%改善**
渋滞損失時間は**23%減少**

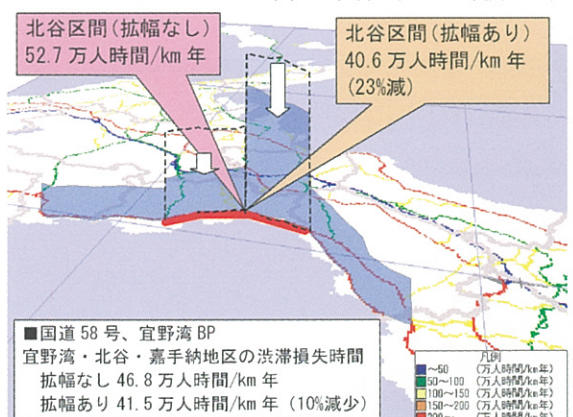
北谷地区で突出していた渋滞損失時間(76.6万人時間/km年)が大きく減少(18.3万人時間/km年)し、当該路線の速達性が確保され、観光・商業活動等に寄与します。

図1 北谷地区の混雑度変化



約74,000台/日 (現況交通量 H17) → 約89,000台/日 (将来交通量 H32)

図2 北谷地区の渋滞損失時間



※混雑度について:
混雑度は調査単位区間の交通容量に対する交通量の比のこと。
混雑度 = 交通量(台/12hまたは24h) / 交通容量(台/12hまたは24h)



返還跡地開発やフィッシャリーナ計画等の地域プロジェクトを支援します

円滑な交通の確保、アクセス性の向上により、各種事業やプロジェクトを支援します。



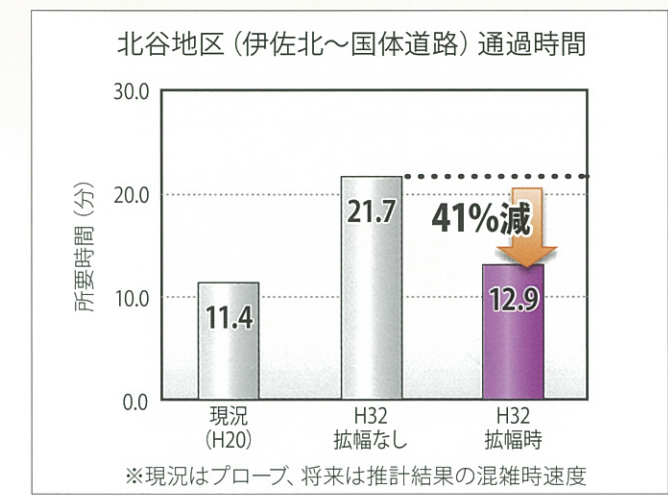
プローブ: タクシーやバス、一般車両等にGPS等の測位計測機能を搭載した車両により、道路交通状況(情報)を収集したもの。



所要時間が短縮されます

通過時間が**41%減少** (22分 ⇒ 13分)
(国道道路交差点 ~ 伊佐北交差点)

国道道路交差点から伊佐北交差点まで、将来、交通量が増加し、車線数が現状のままでは約22分かかってしまいます。車線数を増やして8車線整備することにより所要時間は約13分と短縮されます。



環境負荷が低減されます

過去3カ年連続で騒音値が**環境基準を超過**
→ ゆとり空間の創出

北谷地区の交通騒音は、昼夜とも環境基準を超過しています。道路整備(ゆとり空間の創出等)により昼夜とも環境基準をクリアし、生活環境が改善されます。

